施工現場の声から生まれた
かつてない床用塗料

フロアトップアクア®

フォルティス

コンク水性二液ウレタン樹脂塗料

フロアトップアクア® プライマー
ハエレオ 誕生！

さらに幅広い基材に適応できる
最強タッグが完成!!

ATOM X

床の塗り替えのお困りごとを解決します！

- 床に何が塗られているか**分からない**
- 重量物の通行に**耐えられない**
- 操業中に**塗りたい**
- 即日**開放したい**
- 撹拌機を**持っていない**
- 退色を**防ぎたい**

解決

What's フォルティス

フォルティスはラテン語で「強い」「丈夫」という意味です。

- 既存塗膜を**選ばず**塗装可能
- 塗装後**1時間**（23℃）で歩行開放可能
- 耐摩耗性は薄膜水性塗料の**3倍**
- 電動撹拌機が**なくても**使用可能
- **UVカット機能**（つや有りクリヤー・つや消しクリヤー）
- **低臭** 危険物非該当

用　途

各種工場、倉庫、店舗、事務所、通路等の屋内外床

荷姿・塗り面積

【荷姿】

13.5ｋgセット：主剤　12ｋg(印刷石油缶)、硬化剤　1.5ｋg(3.2L角缶)

3.6ｋgセット：主剤　3.2ｋg(4kg丸缶)、硬化剤　0.4ｋg(1L角缶)

【塗り面積】

13.5ｋgセット　50㎡(2回塗り)　　3.6ｋgセット　14㎡(2回塗り)

※混合時に入れる水を加えた塗り面積です。下地の状況により塗り面積は変化します。

標準色

１４色（調色も承ります）

#9サマーグリーン	#10ディープグリーン	#11グリーン	#15ライムグリーン	#21アメリカングレー	#27ナチュラルグレー	#31スパニッシュブラウン
#40ベージュ	#50アイボリー	#60スカイブルー	#80ホワイト	#90つや有りクリヤー	#91つや消しクリヤー	黄色

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。　※つや消しは、#91つや消しクリヤーのみです。

水性ウレタン | 危険物非該当 | 特化則非該当 | 速乾性 | 無鉛 | F☆☆☆☆ ホルムアルデヒド放散等級 | NTX トルエン・キシレンを含んでいません | 二液

特長

付着性

何が塗られているか分からない場合でも、広範囲の樹脂系床用塗料の既存塗膜に**プライマーなし**で上塗りできます。また下地処理のいきとどいた普通コンクリートに直接塗装できます。

注）裏面の塗装仕様例をご確認ください。

詳細はこちら
https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_2/

耐久性

従来の薄膜水性床用塗料と比較して架橋密度が高く3倍の耐摩耗性があります。**ライフサイクルコストを低減**できます。

フォークリフトが走行する出入口で３年間耐久性試験（当社比較試験による）
写真右：①水性アクリル ②水性ウレタン ③フォルティス ④水性エポキシ

安全性

水性塗料のため**安心**してご使用いただけます。また**低臭**なので操業中でも塗装できます。

	消防法	保護具	保管	特定化学物質障害予防規則
フォルティス	危険物非該当なので指定数量**制限なし** ※硬化剤は指定可燃物	 防塵マスク着用	一般倉庫 設備:一般的な蛍光灯	非該当
一般的な溶剤型塗料	危険物なので指定数量**制限対象**	 防毒マスク着用	危険物倉庫 設備:防爆型蛍光灯	特定化学物質作業主任者の**立ち合い必要**

乾燥性

独自の配合技術により**1時間で歩行開放**、8時間で重量物開放できます。
（※気温23℃・湿度50%の場合）

動画配信中
https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_1/
詳細はこちら

材料混合

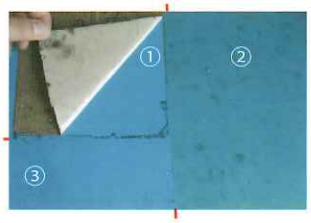
電動撹拌機がなくても二液型塗料が
簡単に混合できます。

※硬化剤に同量の水を入れて充分撹拌した後、主剤に混ぜて充分混合撹拌します。
※材料混合の際は、必ず右記の動画をご覧ください。（QRコードは製品ラベルからもご覧いただけます）
※小分けする場合は、主剤の缶は上下を裏返したりしながら20回以上充分に混合撹拌したものをご使用ください。

動画配信中
https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_01/
詳細はこちら

耐候性

つや有りクリヤー・つや消しクリヤーは、**UVカット機能**を有しているため素地の風合いを活かす仕上げの他、既存塗膜の退色を抑制します。



太陽光が入る倉庫入口付近で１年６ヶ月間耐候性試験
写真右：①エポキシ塗料（初期の色との比較のためテープ養生）②エポキシ塗料
③エポキシ塗料の上にフォルティス #90 つや有りクリヤー

施工仕様例（※塗布量は水を混合した分量です）

1）塗り替えコーティング工法　［工法記号:AQ-UWS-I］

工程		製品名	混合比（重量比）	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔（時間/23℃）
1	下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2	上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5 ※	0.15	1以上
3	上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5 ※	0.15	－

注）ワックスが残存しているＭＭＡ樹脂やビニルエステル樹脂、FRP樹脂、ふっ素樹脂、シリコン樹脂には付着しません。また、柔らかい塗膜の上に塗装すると割れることがあります。
※3.6kgｾｯﾄの場合は、主剤：硬化剤：水＝3.2:0.4:0.4です。

2）コーティング工法（コンクリート面 / カラー限定）　［工法記号:AQ-UWS-V］

工程		製品名	混合比（重量比）	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔（時間/23℃）
1	下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2	捨て塗り	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：4.5 ※	0.09~0.18	0.5以上
3	上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5 ※	0.15	1以上
4	上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5 ※	0.15	－

注）捨て塗りの替わりに水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。水分・油等がある場合は当社にご相談ください。
注）緻密なコンクリートに塗装する際は、フロアトップアクア プライマー ハエレオをご使用ください。
※3.6kgｾｯﾄの場合は、主剤：硬化剤：水（捨て塗り）＝3.2:0.4:0.4(1.2)です。

3）コーティング工法（コンクリート面 / クリヤーおよびカラー）　［工法記号:AQ-UWS-H］

工程		製品名	混合比（重量比）	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔（時間/23℃）
1	下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2	下塗り	フロアトップアクア プライマー ハエレオ	主剤：硬化剤 ＝5：0.5 ※1	0.10	2以上
3	上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※2	0.15	1以上
4	上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※2	0.15	－

注）コンクリートの表面状態により、塗料の吸込み具合が異なるため不均一な色目（吸込みムラ）に仕上がる場合があります。
注）フォルティス クリヤーをコンクリート面に直接塗装しないでください。必ず下塗りをご使用ください。
※1 新設および外部コンクリート、風化・劣化したコンクリート、スレート、ケイカル等の場合は、浸透添加剤を追加混合してください。なお、水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。
※2 3.6kgｾｯﾄの場合は、主剤：硬化剤：水＝3.2:0.4:0.4です。

4）コーティング防滑工法（コンクリート面）　［工法記号:AQ-UWN-H］

工程		製品名	混合比（重量比）	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔（時間/23℃）
1	下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2	下塗り①	フロアトップアクア プライマー ハエレオ	主剤：硬化剤 ＝5：0.5 ※1	0.10	2～24
3	下塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※2	0.15	直後
4	硅砂散布	6号硅砂または7号硅砂	－	0.10	1以上
5	上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※2	0.15	1以上
6	上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※2	0.15	－

※1 新設および外部コンクリート、風化・劣化したコンクリート、スレート、ケイカル等の場合は、浸透添加剤を追加混合してください。なお、水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。
※2 3.6kgｾｯﾄの場合は、主剤：硬化剤：水＝3.2:0.4:0.4です。

5）コーティング工法（アスファルト面）　［工法記号:AQ-UWAN-Ⅳ］

工程		製品名	混合比（重量比）	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔（時間/23℃）
1	下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2	上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※	0.30	1～48
		8号硅砂	7.5	0.15	
3	上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※	0.20	1～48
		8号硅砂	7.5	0.10	
4	上塗り③	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 ＝12：1.5：1.5※	0.20	－

注）コンクリートの屋外駐車場などは、コンクリートの表面強度が弱かったり、下地からの湿気やコンクリート内部へ雨水の侵入により塗膜の浮き・剥がれが発生する場合があります。駐車場の塗装の場合、当社にお問い合わせください。
注）硅砂の混合を行なうので電動撹拌機をご用意ください。
注）既設アスファルトの場合は、下塗りにフロアトップアクアプライマー ハエレオをご使用ください。
※3.6kgｾｯﾄの場合は、主剤：硬化剤：水＝3.2:0.4:0.4です。

動画配信中

https://www.atomix.co.jp/floor/shitaji_1/
コンクリートの見分け方はこちら

フォルティスの可使時間：1時間　上塗り可能時間：1時間（※気温23℃・湿度50%の場合）

注意事項

1．塗装（施工）前の注意
（1）5℃以下の場合には塗装を避けてください。
（2）降雨・降雪・高湿（85%以上）・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
（3）下地処理・下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等を良くお読みの上、充分に注意して行なってください。

2．塗装（施工）中の注意
（1）下地が濡れている場合は、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
（2）塗装中・乾燥中は、換気を良くし、火気の取り扱いは厳禁にしてください。
（3）二液型塗料の計量・混合撹拌は、はかりおよび電動撹拌機を用いて行い、可使時間（ポットライフ）にも充分注意して塗装してください。
（4）フォルティスには、必ず水混合が必要になります。
（5）水を混合した硬化剤は反応が進むため保管はできません。すぐにご使用ください。この状態で密栓すると炭酸ガスが容器内に溜まり、膨張し内容物の噴出などの事故につながりますのでご注意ください。小分けする場合は、必ず必要量のみを計ってから水を混合してご使用ください。
（6）塗料を小分けする場合は、小分け前に充分撹拌し均一にした後、主剤・硬化剤・水の混合比（重量比）を守るように、はかりで正確に計り取り、その後、混合撹拌を行なってください。材料混合の際に撹拌機を使用する場合は、上下に動かして、まんべんなく材料が混ざるように混合してください。
（7）材料混合の際、床面に主剤・硬化剤の材料がこぼれた場合、必ず拭き取ってください。その上に混合した材料を塗り重ねしますと未硬化（硬化不良）を起こしますのでご注意ください。
（8）可使時間を超えた材料の使用は物性を著しく低下させますので、使用しないでください。
（9）材料混合の際、基本は撹拌機にて混合してください。
（10）塗装中に休憩する場合は可使時間を考慮してください。休憩の際、塗装具は混合した材料に漬けておいてください。
（11）クリヤー仕様を行なう場合、塗装状況や下地によってはムラになる場合があります。

3．塗装（施工）後の注意
（1）湿度が高いとき、気温が低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
（2）養生時間：歩行開放 1時間　重量物開放8時間(気温23℃・湿度50%の場合)
（3）開放時間は風通しや水分の揮発状況により遅くなることがあります。特に、低温・高湿度・通気が悪い状況では遅くなります。高湿度や通気が悪い環境の場合、送風機利用による風の循環や換気の徹底をお願いします。
（4）塗装道具などを洗浄した水などを、河川や湖沼へ流したりしないようにご注意ください。
（5）小分けして残った材料は、蓋を完全にし、直射日光や－5℃以下の場所を避けて換気の良い冷所で保管してください。
（6）空の硬化剤容器は穴を開けておくか、蓋をせずに廃棄してください。

4.塗装面別の注意
（1）新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地面にポリシート（1㎡以上）を張り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
（ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで７００以下、チャンネル４で５%以下を目安にする）
（2）普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリッシャーサンダー等で完全に取り除いてください。
（3）既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の状態により除去が必要な場合があります。
（4）風化したコンクリート、吸込みの激しいコンクリート、打設時の雨打たれや凍結により強度のないコンクリートの場合にはご相談ください。
（5）強化コンクリートの場合、フロアトップアクア プライマー ハエレオをご使用ください。
（6）床用塗料の上に貼り付けた布テープ・ラインテープ等を取り除く際に、塗膜が剥がれることがあります。
（7）タイヤやゴムが長時間接触していると、タイヤマークが付いたり、塗膜が剥がれることがあります。

5.全般的注意
（1）製品ご使用の際には、ＳＤＳ（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
（2）製品改良等のため、製品の中身・仕様は、将来予告なしに変更する場合があります。
（3）当仕様書に表示してあります塗り面積・工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。
（4）塗装の際の諸条件によって使用量が増減する場合があります。
（5）本製品は、定められた用途以外には使用しないでください。
（6）ご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社　塗料事業部

〒174-0041　東京都板橋区舟渡3-9-6　TEL.03(3969)3125(直通)　FAX.03(3968)7300

■本社	〒174-0041	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL.03-3969-3111(代表)	FAX.03-3968-7300
■加須受注センター	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1154	FAX.0480-65-6909
■大阪支店	〒574-0053	大阪府大東市新田旭町2-22	TEL.072-872-3111	FAX.072-872-1222
■仙台営業所	〒982-0011	仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL.022-249-7371	FAX.022-249-7372
■新潟営業所	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL.025-244-8011	FAX.025-244-8012
■横浜営業所	〒224-0033	横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL.045-943-8911	FAX.045-943-8912
■名古屋営業所	〒462-0043	名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL.052-914-3900	FAX.052-916-0892
■広島営業所	〒739-1734	広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL.082-845-2202	FAX.082-845-2203
■福岡営業所	〒812-0863	福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL.092-503-5200	FAX.092-503-5308
■加須工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1159	FAX.0480-65-7146

231004NB-⑬